

「浅田飴しっとりのだ飴」を9月2日に発売 創業時の水飴をイメージした水飴風ケイヒペーストを使用

株式会社浅田飴(所在地:東京都千代田区、代表取締役社長:堀内 邦彦)は、創業時の水飴をイメージした水飴風ケイヒペーストを飴のセンター部分に使用したのだ飴「浅田飴しっとりのだ飴」(食品)を、2019年9月2日(月)に発売いたします。



■浅田宗伯と堀内伊三郎

浅田宗伯は信濃国で代々医業を営む家に生まれ、京都や江戸で漢方医学や儒学を学びました。江戸で漢方医を開業した後、徳川將軍家の典医や幼少の大正天皇の侍医まで勤めた人物で、維新以来、西洋医学が主流となった中で、漢方医学の最後の大家と呼ばれています。

堀内伊三郎は信濃国(伊那郡)の出身。同郷のよしみから宗伯の書生となった伊三郎は、その真面目な働きぶりが認められ、宗伯から浅田飴の基となる処方を受けました。そして1887年(明治20年)、当時、病気やお産のお見舞いとして鶏卵や水飴を贈る習慣に着目し桔梗、麻黄、葛根、人参などの生薬を水飴に溶かした「御薬(おんくすり)さらし水飴」を発売しました。これが後に「浅田飴」と改称、1915年(大正4年)には持ち運びやすいように固形化され、現在販売されている「固形浅田飴」(指定第2類医薬品)へと繋がっていきます。

「浅田飴しっとりのだ飴」は、この水飴にちなんで「水飴風ケイヒペースト」を使用、さらにのどにうれしい4成分とハーブエキスを配合したのだ飴(食品)です。

■「浅田飴しつとりのど飴」の特長

・水飴風ケイヒペーストを使用

懐かしい水飴風のケイヒペーストを飴のセンター部分に使用しています。

・のどにうれしい4成分を配合

カンゾウ、カリン、カミツレ、キキョウとハーブエキスを配合したのどにうれしいのど飴です。

■「浅田飴しつとりのど飴」製品概要

商品名	浅田飴しつとりのど飴
分類	食品
内容量	61g(個包装込み)
希望小売価格	240円(税抜)
原材料名	砂糖(国内製造)、水飴、還元水飴、ブドウ糖、麦芽糖、はちみつ、ハーブエキス、ニッキエキス、寒天、カミツレエキス、はちみつカリンエキス、キキョウエキス、カンゾウエキス/ソルビトール、トレハロース、香料、カラメル色素
発売日(メーカー出荷)	2019年9月2日(月)
発売地域・チャネル	全国のスーパーマーケット、コンビニエンスストア

■会社概要

株式会社浅田飴

所在地:東京都千代田区鍛冶町2-6-1

代表者:代表取締役社長 堀内邦彦

設立 :1947年(昭和22年) ※創業:1887年(明治20年)

浅田飴コーポレートサイト : <https://www.asadaame.co.jp/>

「医薬品の、浅田飴」ブランドサイト : <https://www.asadaame.co.jp/medicine/>

